

## 第55回日本ストーマ連絡協議会 議事録

※敬称略

日時：2023年11月28日(火) 17:30 – 18:30

場所：Zoom開催

進行：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 当番幹事 コンバテック ジャパン株式会社

議事：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 副当番幹事 株式会社 ホリスター

参加予定者：JSSCR – 幸田圭史、板橋道朗、靱山こずえ、山本由利子

JWOCM – 紺家千津子、松原康美

JOA – 木下静男

OAS – 田代浩一、相田真(進行)、秋葉晃子(議事) 合計 10名

### 1.活動報告

#### 1)JSSCRより

板橋：特に大きな活動はなし。アフターコロナで、介護職への講習会開催活発化してきている、

山本：特出すべきものはないが昨年同様に粛々と活動を継続。

靱山：2024年2月総会の災害対策委員会企画では埼玉県の事例を取り上げる予定。

2023年9月の委員会で、東海エリアの委員より、JOA調査「自治体のストーマ装具の支援体制」の詳細についてJOA支部もシェアしたほうがよいという意見あり。

日本災害医学会より講演依頼あり。大災害時の協働を見据えて活動範囲を広げていく必要あり。

仙台の高橋先生が参加予定。

松原：2024年2月9日（金）JSSCR学会で、市民公開講座開催予定。

告知物は後日配布予定。

幸田：あり方委員会が2023年11月27日に開催。新理事の板橋先生に今後ぜひ内容をシェアしていただきたい。

板橋：学会員だけに情報を提供するのではなく、ストーマ保有者にも情報を広く伝えていきたい

#### 2)JWOCMより

紺家：JWOCM、日本褥瘡学会との災害時の連携検討。

#### 3)JOAより

木下：10月4日～11月22日全国ブロック会議（9ブロック）開催。以下につき議論。

- ・ストーマ装具給付の増額活動
- ・各支部に災害時の手引き配布、災害時対応。
- ・会員減対策（現在5,000人台）

10月21、22日にシンガポールでアジアオストミー会議、国際部会担当が出席。

JSSCR幸田：

会員減の原因は何か？コロナ後に手術数も増加し、オストメイトは増加傾向。

木下：つながりを持つということに対する意識が変わってきている。情報はインターネットやSNS 得るため、協会に参加する意義を理解できないかもしれない。

JSSCR板橋：

JSSCRとしてJOA会員増に貢献できることはないか？

木下：病院にJOAのリーフレット等を用意させていただくので、設置、ご紹介などをお願いしたい。

OAS各社にも協力を得たい。

JSSCR靱山：

JOAの存在は重要。学会のHPにJOAへのアウトリンクを貼る、災害対策リーフレットにも記載など検討したい。

JWOCS松原：

JWOCSでもスト-マ外来検索サイトなどに、JOAへのアウトリンクを検討。

4)OASより

田代：7月29日 九州スト-マリハビリテーション研究会(鹿児島県)のセッションに参加。

9月4日 京都橘スクールにて、研修生に災害対策について講義。

本年度の装具無償提供は11月現在、OAS会員会社全体で、7/7の大雨にて7名¥66,025のみ。

●次回開催：第55回日本スト-マ連絡協議会

2024年3月26日(火) 17:30～、WEB開催(予定)

以上